

デジタイザと AWG（任意波形発生器）用の DIO オプションを発売

Piggy-back モジュール（子ガメモジュール）で、16 チャンネルのデジタル信号を追加

SPECTRUM 社は、2018 年 9 月 18 日に、最新の 16 ビットデジタイザおよび AWG に、アナログデータに同期した 16 チャンネルのデジタル信号を追加するオプションモジュールを発売しました。これらの追加したデジタル信号チャンネルは、デジタイザカードと AWG カードに実装されている 4 チャンネルの多目的 XIO ラインを拡張しています。これらは、デジタイザに対しての同期デジタル入力、AWG に対しての同期デジタル出力、或いは非同期の状態表示、追加のトリガ入力などとして動作させることができる 20 チャンネルのプログラム可能な IO 信号チャンネルを構成しています。

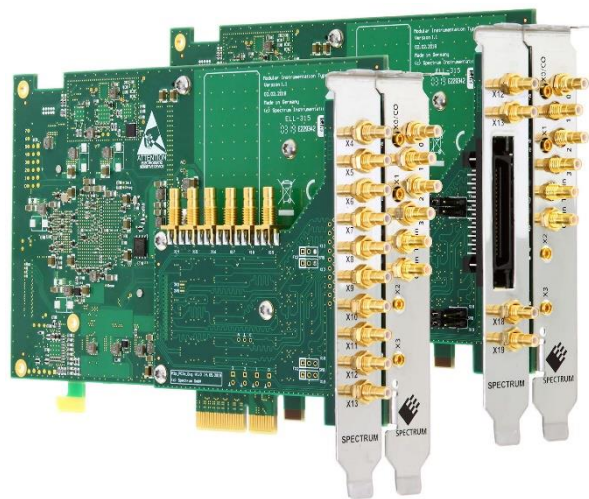
デジタルオプションは、PCIe カード用の子ガメモジュールで、スロットのパネルをもう一つ必要とします。それには、2 つの異なるバージョンがあります。SMB コネクタタイプと FX2 のリボンコネクタタイプです。SMB バージョン(M2p.xxxx-DigSMB)は、前面パネル上の 10 個のコネクタと、スロット内部のプリント基板上の 6 個のコネクタで構成されます。

FX2 バージョン(M2p.xxxx-DigFX2)は、SPECTRUM 社の以前の製品との互換性を保証し、単一のコネクタ経由で、すべての信号チャンネルの並列接続を可能とします。

これらのモジュールは、16 ビットデジタイザ M2p.59xx シリーズ（1～8 チャンネル、20～125 MS/s の 20 種類の PCIe カード）及び、16 ビット AWG M2p.65xx シリーズ（40～125MS/s、1～8 チャンネルの 8 種類の PCIe カード）に関して適合します。

例えば、M2p.5968-x4 デジタイザカードに組み込んだ場合には、8 チャンネルのアナログ信号に同期して、19 チャンネルまでのデジタルチャンネル(実際には、20 チャンネルありますが、メインカード上の 1 つは出力専用)を並列で動作させる事ができます。同じように、M2p.6568-x4 AWG カード上で、同モジュールを使用すると、8 チャンネル AWG 信号出力に同期して、20 チャンネルまでのデジタル出力、或いは、マーカー出力を行うことができます。

デジタルデータは分解能を下げた型で、アナログデータとして格納されます。ソフトウェアドライバは、ミクストモードに完全にカスタマイズされたセットアップを許可します。このオプションは、C++、C#、VB.NET、Pyson、JAVA、LabVIEW、MATLAB を使用したプログラミング



を含んでいる完全なソフト開発キット(SDK)により全面的にサポートされます。SDK はすべてのユニットに標準として装備されています。SPECTRUM 社のソフトウェア SBench 6 は、オプション機能の大部分をサポートします。

両方のデジタルオプションのバージョンは、SPECTRUM 社の 5 年保証を適用されています。このオプションは、既に使用中のカードでも、工場で引取追加することができます。さらに、それは、digitizerNETBOX DN2.59x および generatorNETBOX DN2.65x にも、適用されます。

このオプションに関しては、当社に連絡ください。